



たいじゅ もり  
大樹の森

8,9月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>



## 修学旅行で学ぶこと

校長 山下 謙一郎

夏休み前のことになりますが、6年生が日光修学旅行に行ってきました。不動丸小学校では実に3年ぶりとなる宿泊を伴った校外学習でした。昨年度、一昨年度の子どもたちのことを思うととても心苦しいですが、今年度はその子たちの思いも一緒に日光に持って行って楽しい時間を過ごそうと心に決めて行きました。2日間ともあいにくの天候でしたが、それでも充実した活動を行えたことに感謝せずにはられません。サポートくださった旅行会社の方、日光の旅館の方々、そして保護者の皆様にあらためて御礼を申し上げます。

さて、修学旅行ではどんなことを学べるのでしょうか。たくさんあるとは思いますが…一つは、「歴史的な建造物や自然にふれる」ことです。日光では、東照宮や三仏堂、二荒山神社など世界遺産にも登録されている多くの文化財を目の当たりにすることができました。また、華厳の滝をはじめとする雄大な自然を感じることができました。それらに実際に触れることで、感性が磨かれたり、その素晴らしさを知ったりする機会を得ることは大変貴重な経験です。もちろん、興味をもてる子もいれば、なかなか興味がもてない子もいるでしょう。でも、大切なのは今のうちに「経験の幅を広げること」だと思います。

もう一つ、「学校ではない社会について知る」ことです。みんなが楽しいと感じた修学旅行は様々な仕事をする人がいて成り立っていて、旅行会社の添乗員さん、旅館や観光地のスタッフ、バスの運転手、ガイドさん、レストランやお土産物屋さんの方々など多くの人の工夫や努力があってこそ楽しめることを知らなければなりません。様々な仕事をする人たちが、様々なところで考え工夫することで、みんなが楽しく旅行をすることができ、そんな社会の中で自分たちも生きているのだということを知るのはこれからの人生で大切なことです。だからこそ、約束やマナーを守ったり、ありがとうとお礼を言ったりすることが、わたしたちにできる社会生活の中での大事なことだと知ってほしいのです。

あとに続く4、5年生のみなさんにも是非、いろいろなことを学んでほしいですね。